

神戸大学国際文化学研究推進センター・日本学術振興会研究拠点形成事業（A.先端拠点形成型）「日欧亜におけるコミュニティの再生を目指す移民、多文化、公共政策の研究拠点形成」主催ワークショップ

THE TRUMP ADMINISTRATION AND SANCTUARY CITIES: INTERGOVERNMENTAL DISPUTES OVER UNDOCUMENTED IMMIGRANTS

2017年6月13日（火）11:00~12:00 E棟学術交流ルーム

報告者: 安岡正晴氏（神戸大学国際文化学研究科准教授）

使用言語：英語

報告要旨：

トランプ政権は選挙中の公約通りに就任直後の2017年1月25日に、出入国管理に関して連邦法に従わず、移民関税執行局(ICE)への情報提供を拒み、不法移民を「匿っている」とされる「聖域都市 (sanctuary city)」に対して連邦補助金を停止する方針を打ち出した大統領令第13768号を発令した。これに対して1月31日には聖域都市であるサンフランシスコ市が違憲訴訟を提起するなど全面对決の姿勢を示した。不法移民を匿う「リベラルな」聖域都市と、取り締まりを強化しようとする「差別的な」トランプ政権の対決という単純な図式で捉えられがちだが、聖域都市政策をめぐるのは当事者である諸都市や州政府のスタンスも様々であり、同じ都市でも試行錯誤を繰り返してきた。本報告ではサンフランシスコ市での実態調査をもとに、聖域都市政策をめぐる連邦、州、地方政府がどのように対立しているのか、またその対立はトランプ政権下固有のものなのか、オバマ政権との連続性があるのか、などの問題について考察してゆきたい。

報告者略歴：

早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程政治学専攻単位修得退学。ヴァージニア大学大学院修士(政治学)。現代アメリカ政治について比較公共政策の視点から研究している。"City-County Separation and Consolidation in the United States: The Impact on Urban Growth." *The Japanese Journal of American Studies*, No.19(2008)など。

問い合わせ先 井上弘貴 hiro_inouye@port.kobe-u.ac.jp